

## 平成30年度事業方針

福井県獣医師会は、専門職業人としての獣医師が組織し、人と動物が共生する社会の健全な発展を目的とする事業を主に展開する公益法人です。

食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、野生動物保護管理、さらには教育分野等、動物を介した幅広い分野において、県民の健康生命を守り、生活福祉の向上に資する公益目的事業に取り組んでいます。

そして、私たちの活動が着実に成果を上げ、地域の様々な分野において重要な役割を担っているとの評価と信頼を確信し、今後はこうした公益事業を後退、停滞させることなく、安定的かつ継続的に遂行することが必要と考えます。

このような認識に立ち、平成30年度は次のキーワードを念頭に事業を推進します。

先ず、One Health です。

人および物流の国際間移動の進展や自然環境問題に派生して動物由来感染症の発生流行が相次いでみられています。関係機関との連携を図りながら、この概念の実践に取り組めます。

次は、災害時動物マネジメントです。

大規模災害が全国各地で発生している今日、動物救護対策をどのように講ずるかは、動物愛護の観点だけでなく、被災者である飼い主の避難を支援し、放浪動物による人への危害防止や生活環境保全の観点からも重要です。県、市、関係団体等と連携した地域活動マニュアルの整備に取り組めます。

そして、シェルターメディスンです。

4月から私たち獣医師会の公益発現の場として大きな期待と夢を託せる動物管理指導センターが運用開始します。「動物たちの命が輝いてこそ、人の命も尊く美しい」を活動理念に、センター運営に協力し、人と動物が共生する心温かい地域社会づくりを目指します。